



CSR報告書 2014

---

# 経営理念

*management philosophy*

パナックは、グローバルな視野に立ち、  
「地球環境の保護・人々の生活の質の向上」  
に貢献する真の価値を創造し続ける。

# 行動原則 (私たちの約束)

*action principle*

お客様起点	お客様の声を丁寧に聴きます。
三現主義	現場・現物・現実を誠実に直視します。
物事の本質の追求	起きていること、何をすべきかを徹底的に考えます。
コミュニケーション	自分の考え・意見をわかりやすく的確に伝えます。
チームワーク	相手を敬い組織を超えて一人ひとりが責任を果たします。
目標達成への熱意	何事もあきらめず目標達成のために挑戦し続けます。
あくなき向上心	自分自身を耕し続けます。
感謝	常に感謝の気持ちを持ち、それを伝えます。

## 編集方針

この「CSR報告書2014」はパナックの2012・13年度（2012年4月～2014年3月）のCSR活動についてまとめた報告書です。

パナックと関わりのある全てのステークホルダーの皆様、ならびに従業員各位にお読みいただきたいと考えております。

パナック株式会社 CSR委員会

## Top Message

企業は、社会に有益な製品・サービスを提供することで社会に貢献し、それにより企業価値を高めています。

また、同時に持続的な発展ができるよう、社会での活動を続けなければいけない存在です。

そのためには、経営の一環として、CSR（企業の社会的責任）が必須となってきています。

パナックは、CSRを「企業が社会の中で、持続的に発展するために、社会に対して果たすべき責任」として認識し、経営を行います。

つまり、パナックを取りまくあらゆるステークホルダー（お客様、お取引先様、地域社会、従業員、株主等）に配慮した経営を行うことです。

具体的には、経営の視点を従来の経済的視点ばかりでなく、社会を加えたCSRという新しい視点から発想することにより、継続的に社員・パナックの意識、意思決定、行動を変化させ、社会とパナックの持続可能性を高めることです。

今後も、パナックは、新しい価値を追求し、健全で幸福な社会の発展に貢献していきます。

パナック株式会社

取締役社長 多田 和則

# The Panac Concept

パナックは“4つの機能”により、特徴ある企業に成長してきました。

これは、お客様にとって最適なフィルムを、

数ある種類の中から[探索]し、最適な形状に[加工]する。

さらには新たな機能を持たせられるように[開発]しながら、

安定した[供給]を行うことに集約されます。

これらはすべて、プラスチックフィルムに関するプロフェッショナルとして、

「お客様の要望にお応えする」を追求してきた結果であり、

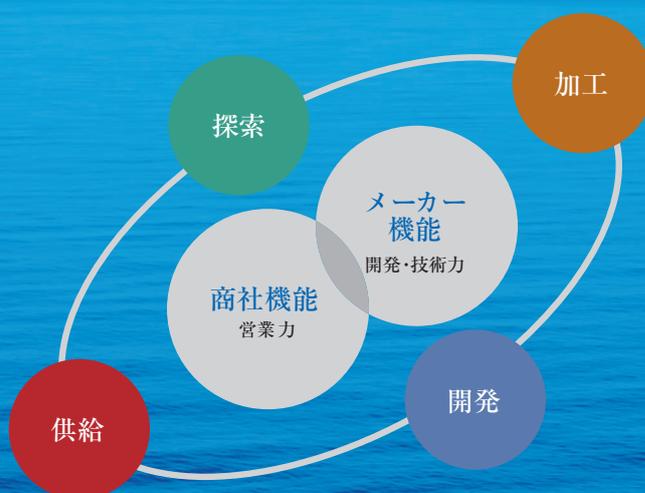
皆様からのゆるぎない信頼へとつながっています。

パナックはこれからも、新素材の探索、新技術の開発と

活動フィールドを拡げ、より高度な付加価値を創造すると同時に、

新たな取り組みにも挑戦することで、

すべての機能をひとつの大きな力にし、未来を築きます。



## 2012・2013年度 CSR活動計画と自己評価

7つの中核主題	主な活動計画	活動実績	自己評価	2014年の課題
組織統治	社会的責任への取り組み	CSR委員会の開催	○	CSR委員会の開催
	リスク管理・BCPの整備・推進	災害時対応チェックリスト、各種マニュアル・手順書の作成		チェックリストの更新
		各種マニュアルの見直し		各文書の見直し・更新
	CSR推進活動	CSRトピックスの発行		—
人権	人権・労働の擁護に関する職場内の監視と発生時の迅速な対応	担当部門本部長による、全営業所訪問を実施・個別面談を実施	◎	問題がないことを定期的にチェックする
労働慣行	従業員が働きやすい快適職場の実践	安全衛生委員会によるパトロールの実施	○	労働災害の減少
	安全衛生：各部署、委員会活動により推進	危険箇所の抽出、予防処置の実施 労働災害4件発生(2013年度)		
環境	国内外の環境規制・環境法令の遵守	エネルギー削減項目目標達成	◎	EMS更新審査
	環境調査対応の目標回答納期の達成率の向上	達成率目標をクリア		環境調査対応の目標回答納期の達成率の向上
公正な事業慣行	与信管理の徹底	回収改善 14社(2013年度目標50社)	△	回収改善 50社(目標)
	取引基本契約書の締結を推進	新規締結対象は数社であるが締結は1社(2013年度実績)		新規取引先との契約書締結 購入仕様書締結の推進
	連結決算の精度を向上させる	連結決算資料を定期的に作成		—
	遵法のための活動推進	消防法等、関連法令に関する打合せの実施		—
臭気監視により、問題なきことを確認		—		
消費者課題	ISO 9001の維持・推進	内部監査・維持審査・更新審査の実施	◎	内部監査・維持審査・更新審査の実施
		内部監査員の勉強会の実施		—
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	地域社会への貢献を事業所として展開	北山工業団地立地企業連絡会への参加	○	地域コミュニティの参画
	工場周辺清掃	両工場で開催中計7回(計画8回)実施		—

◎ 目標達成 ○ 目標達成50%以上 △ 目標達成50%未満

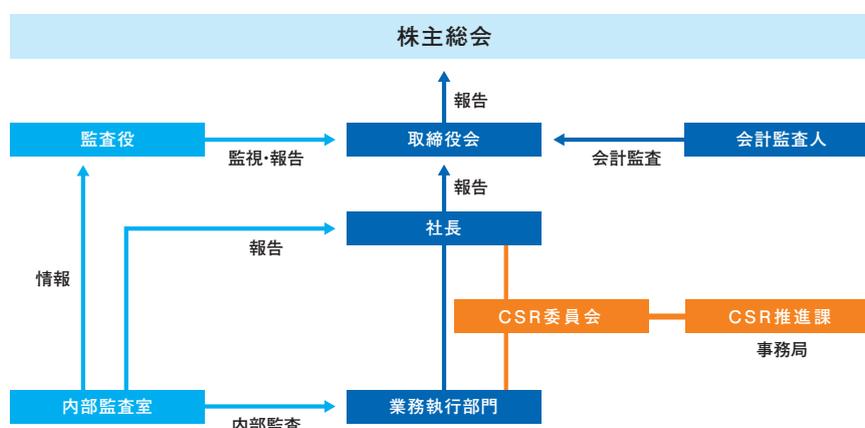
# 組織統治

## コーポレートガバナンスの推進

パナックは、経営理念を実現するために、経営の効率化、透明性、健全性の維持に努めています。これらの活動により、継続的に企業価値を創造し、全てのステークホルダーから信頼され、満足いただける魅力ある企業を実現させ、社会とパナックの持続性を高めていきたいと考えています。

当社は、適正な監査を通して、現状の経営システムを最大限に機能させることにより、公正、透明、かつ迅速な経営執行を実現したいと考えています。そのため、当社全体の内部監査機能を担当する部門として、内部監査室を設けています。

また、QMS内部監査実施時は、狭義の品質にとどまらず、「業務の品質」を監査することにより社内ルールの浸透も監査の対象としています。



## 社会的責任への取り組み

パナックは、2008年にCSR委員会、CSR推進室（現在は総務人事部CSR推進課に改組）を新設し、CSR活動に取り組む体制を作りました。

CSR委員会は、社長を委員長として定期的に開催し、パナックのCSRに関する基本方針・総合施策の審議・決定とパナックで実施するCSR活動を総括しています。CSR推進課は、CSR委員会の事務局として活動しています。

## リスクマネジメント活動

パナックでは、内部統制の構築の一環として、リスク管理委員会を設置し活動しております。2011年3月11日の東日本大震災以降は、特に大地震への対応を重点的に活動し、大地震発生時の社員の安全と顧客への製品・サービスの提供の確保を第一として、対策の検討や実行性と実効性が期待できる手順を策定してきました。

2013年度は、これらの手順の見直し・改訂を進めてまいりました。

また、情報セキュリティ面では、社内を使用するパソコンのOSを更新するとともに、各種ルールを改めて社内に表示するなどし、リスク軽減化を図りました。

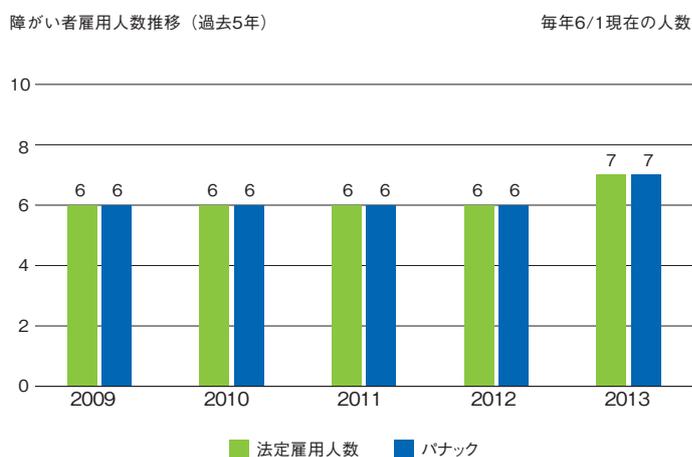
# 人権

## 人権の尊重・擁護

パナックは、行動規範に明記されているとおり、基本的人権を尊重・擁護し、基本的人権を侵害いたしません。  
また、2013年度には、担当部門長が各営業所を巡回しリサーチを行いました。問題行為等の報告はありませんでした。

## 障がい者休暇・雇用の促進

障がいを持たれた社員については、通院のための特別休暇を付与し、就労の支援をしています。また、障がい者雇用についても、2013年の障害者法定雇用率の引き上げに対応するため、新たに障がい者を雇用するなど雇用率遵守に向けて前向きに取り組んでいます。



## ホットライン

職場で発生したコンプライアンス上の問題は、職場で解決することが基本ですが、職場の上司に相談しても解決できない場合や、相談することが難しい場合に、職制や組織を飛び越えて相談・連絡ができるよう「ホットライン」を設置しています。

また、パナック企業行動憲章・行動規範を遵守する上で、内容などに疑問が生じたり、違反の事実を知ったりした場合にも相談できます。もちろん、相談した事を理由に、相談者が不利益を受ける事はありませんし、相談者の秘密も守られます。

相談実績は、2012年度、2013年度ともに0件でした。

# 労働慣行

## ワーク・ライフ・バランスの推進

### ■育児支援

パナックでは、大企業のような厚生施設を設けることなどの支援はできませんが、短時間労働など法の求めよりも緩やかな対応をすることで、育児支援をしています。

育児休業取得を希望する者は、全員が取得しています（育児休業取得率：100%）。育児休業期間（1年間）は短期の派遣社員を雇用し、休業中の業務に支障が無いように対応しております。

また、育児休業期間終了後、お子様の保育園への送迎のための育児短時間勤務の制度を設けています。育児短時間勤務を希望する者は、全員がこの制度を利用しています（育児短勤務利用率：100%）。

### ■一般事業主行動計画

社員が仕事と子育てを両立させることができ、社員全員が働きやすい環境をつくることによって、全ての社員がその能力を十分に発揮できるようにするため、一般事業主行動計画を策定しています。

2014年3月で前回の「一般事業主行動計画」が期限となりましたので、新たに3年間の「一般事業主行動計画」（有給休暇消化率の向上、ノー残業デーの実施、育児休業取得率の向上）を2014年4月策定・届出を行いました。

また、ホームページの掲載、社内ポータルサイトでの周知を行っています。

### ■過重労働対策

社員の過労働を回避すべく「ノー残業デー」の実施や、36協定の遵守など、一層の削減に注力しています。

本社では、「ノー残業デー」を意識させるため、18：30にチャイムを鳴らし、帰宅を促すようにしています。

工場では、クレーム対応など業務集中により残業時間が一時的に多くなる社員はいますが、業務過多により残業時間が多くなっていると判断した場合は、新たに社員を雇用し残業時間を軽減する対応をとっています。

### ■メンタルヘルスの推進

本社では精神科の産業医を配置し、3ヶ月に1度、精神科の保健師を招き、「健康相談」も実施しています。また、本社の精神科産業医と富士宮工場、亀山工場とも産業医契約をし、全社的な視点でメンタルヘル스에注力しています。

## 労働安全衛生

富士宮工場・亀山工場では、安全衛生委員会を組織し、毎月の委員会の開催、安全衛生・5S巡視、安全教育、新設備の安全評価等の活動を行ってきました。しかし、2013年度は、4件の労働災害が発生しました（内3件は不休災害）。

発生日	発生工場	被害状況	発生状況	対策
2013年6月	富士宮工場	足首捻挫	搬送台車作業時の事故	安全な動作の検討及び教育
2013年7月	亀山工場	指先損傷	刃物研磨中の事故	研磨治具を安全配慮型に変更 研磨装置を新設
2013年11月	富士宮工場	手掌切創	付着樹脂を剃刀で除去 作業時に事故	保護具の着用など、手順の改訂
2014年3月	富士宮工場	手掌裂創	金属箔を扱う作業時に 手が滑った	手順の改訂と 当該作業従事者への教育

災害に対し真摯に向き合い、原因を究明し、暫定対策・恒久対策を施しました。

また、再発防止に向けて作業手順の確認や教育を行うとともに、危険動作のチェックと改善点の抽出のため安全パトロールを継続して実施しています。

# 環境

## 環境負荷物質の削減

### ■富士宮工場

特別管理産業廃棄物 引火性廃油は、加工量増加により年間171.8トン前年比で1.9%増加しましたが、原単位換算で、前年比94.8%に削減することができました。

また、今期は廃酸・廃アルカリの廃棄はありませんでした。一方、一般産業廃棄物は年間1,126.1トン(前年比で11.8%の増加)、原単位換算でも4.0%の増加となりました。

### ■亀山工場

特別管理産業廃棄物は、生産量が増加したことにより、2012年度11.84トン、2013年度13.01トンと、前年比9.8%増加しました。

一般産業廃棄物は2012年度489.71トン、2013年度369.71トンと24.5%の削減となりました。また、廃棄物の大半はサーマルリサイクル活用し、一部はマテリアルリサイクルを活用しています。

## チームマイナス6%活動への参加

パナックでは、経営理念にも地球環境の保護を掲げています。

生産部門での省エネルギー活動をはじめ、全社での夏期のクールビズ活動、こまめな消灯活動を通して、意識的に取り組んでいます。

クールビズ活動は、2011年度より期間の前倒し・延長した対応をとり、2014年度も継続実施しています。

## 化学物質管理

近年の欧州 RoHS 指令、REACH 規則など製品に対する化学物質規制が急速に高まっています。このような背景により各種規制への対応を強化するため、グリーン調達基準書を制定・改訂しています。

サプライチェーンを含めた化学物質情報管理体制を推進し、お客様への情報提供（MSDS、RoHS 分析データ）に注力していきます。

区分	主な活動計画
使用禁止物質	RoHS 指令対象物質、アスベスト、PFOS、ヘキサクロロベンゼン、ヒ素、ベリリウム等
管理物質	アンチモン、ポリ塩化ビニル、ヘキサブロモシクロデカン等

<http://www.panac.co.jp/csr/greenProcurement.html> 参照

## 環境2

### ISO 14001 認証取得の推進

---

#### ■富士宮工場

富士宮工場は2011年7月に認証を取得し、省エネ対応を進めてまいりました。その結果、受電電力は、452万kw（前年比 98.1%：原単位前年比 91.7%）、LPG 消費量 1,175.3トン（前年比 101.3%：原単位前年比 94.3%）と、原単位での削減となりました。

#### ■亀山工場

亀山工場は、2002年2月に認証を取得してから10年以上が経過しました。

特定施設（指定）においては、大型地震想定とした模擬訓練を実施しました（2012・2013年度）。また、工場全体の防災訓練を2013年度に実施しました。

### 防災訓練

---

#### ■富士宮工場

富士宮工場は、「避難訓練」「消火訓練」「有機溶剤漏洩処置訓練」を毎年実施し、希望者には普通救命救急講習会をあわせて実施しています。

また、2013年度は、防災倉庫の備品使用方法の説明会を開催しました。

【簡易トイレ、組立式リアカー、発電機等の使用方法】

#### ■亀山工場

亀山工場は、「通報訓練」「避難訓練」「消火訓練」を毎年実施しています。また、2012年度の“地震に備えて”のDVD鑑賞や、2013年度の自衛消防隊による実技を行うなど、万が一の災害に備えた活動を実施しました。

# 公正な事業慣行

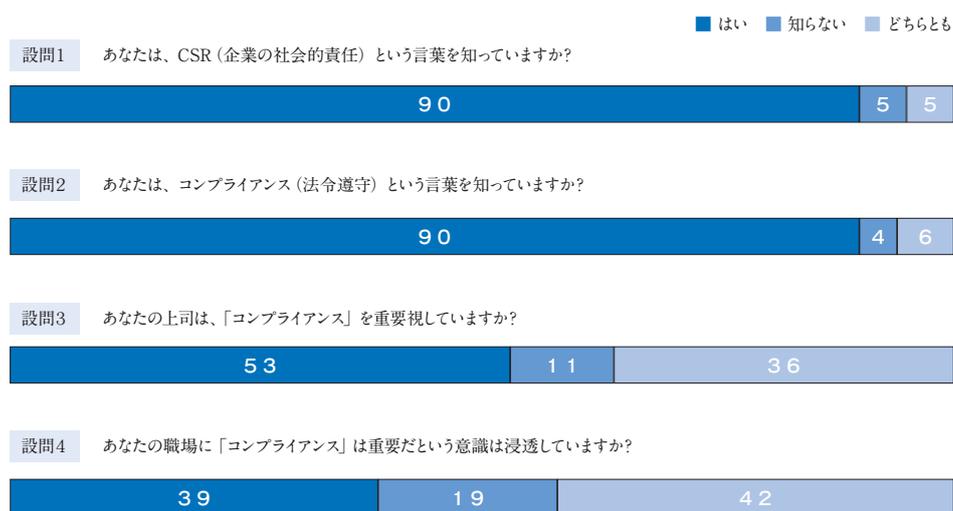
## パナック企業行動憲章・行動規範

CSRを推進する上で、その担保であるコンプライアンス（法令遵守）に取り組む事は、必要不可欠です。コンプライアンスは、言い換えればビジネス社会のルールへの遵守です。

パナックのビジネス社会のルールとして、企業行動憲章・行動規範を2008年に制定し徹底を図っています。

## コンプライアンス意識調査

コンプライアンス推進への取組が従業員の意識向上に繋がっているかを確認するため、全従業員を対象に、3回目のコンプライアンス意識調査を実施しました。



「CSR」「コンプライアンス」という言葉の認識は約90%と、少しではありますが浸透率が向上しています。しかし、設問3「あなたの上司は、「コンプライアンス」を重要視していますか？」に【している】との回答は53.7%と低いものでした。

この設問に【していない】と回答した人の85%の人は設問4で【していない】と回答しています。このように、上司の意識と職場の浸透には明確な因果関係が表れていました。

この結果を受けて、管理職を対象とした、【コンプライアンス勉強会】の開催を計画し、実施しました。

# 購買基本方針

パナック購買部門は、「パナック企業行動憲章」及び「パナック行動規範」に基づいて、関係法令の遵守、公正な取引のもとで、必要な資材・サービスを適切な品質・納期で調達し、お客様が求める価値ある商品の提供に貢献しています。購買活動においても、お客様のご協力のもとで、CSR（企業の社会的責任）活動の推進に積極的に取り組んでいきます。

具体的には、4つの基本的な考え方にに基づき、購買活動を行います。

## ◆基本的な考え方

1. 公明正大に、国内外の全ての企業に公平な機会を設け、公正な評価のもとで購買活動を行います。

2. 法令、社会規範を遵守し、お客様との相互協力、信頼関係の構築に努めます。

3. 購買活動を通して、地球環境保全などの社会的責任を果たしていきます。

4. 最適な品質とコストを追求します。

## サプライチェーン CSR 推進ガイドブック

パナックは、CSRを「社会的責任を果たしながら事業活動に取り組むことによって、社会の中で持続的に発展し、社会に貢献すること」と考え、2008年より、CSR活動に取り組んできました。このパナックのCSR推進活動をお取引先様にご理解をいただくとともに、CSR推進の観点から、お取引先様にご協力いただきたい項目を明確にする事で、お取引先様とともにCSRを推進していく目的として、「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」を2001年7月に作成し、お取引先様に配布しています。

## グリーン調達

パナックは、グリーン調達の基本的な考え方「環境の保全に積極的に取り組んでいるお取引先様から、環境負荷の少ない資材を優先的に調達する」に基づき、グリーン調達活動を推進しています。

EUでは、2006年7月から「RoHS指令」が施行されていますが、2007年6月には「REACH規則」が施行され、製品に含有する化学物質に関する法規制が強化されています。以上の背景から、弊社では2006年、「グリーン調達基準書」を制定し2013年7月 ver. 5.0と更新しています（最新版は、2014年7月 ver. 6.0）。パナックでは、本グリーン調達基準書の遵守を、お取引先様との取引条件とさせていただきます。

# 得意先課題

## ISO 9001マネジメントシステム

パナックでは品質保証体制を整えるため、国内外の各主要拠点でISO 9001認証を取得しています。

### パナック本社 品質方針

1. お客様のニーズと期待に応え、且つ環境に配慮したプラスチックフィルム製品及びサービスを提供し、お客様の満足と信頼を得る。
2. お客様及び社会の規制・要求事項を的確に把握し、それらを満たすために品質マネジメントシステム（QMS）を効率的に運用する。
3. QMSの有効性を継続的に改善し、加工品事業における自立を実現する。

### ▼ 国内外パナックの品質 ISO 認証登録状況

	国内			海外				
	本社	亀山工場	富士宮工場	香港パナック	深圳パナック	上海パナック	台湾パナック	蘇州パナック
ISO 9000 シリーズ	2004年4月	1988年4月	2006年3月	1997年6月	1997年6月	1994年9月	2000年4月	2005年3月
ISO 14000 シリーズ	-	2002年2月	2011年7月	2001年11月	2001年12月	2006年4月	2003年12月	2000年7月

## クレームへの対応

パナックではクレーム対応を最優先に行うこととしております。また、クレームの情報をデータベース化しております。トラブル時には過去のクレーム・コンプレイン情報の集積から対応を把握し、迅速にお客様にフィードバックすることができます。

ISO 9001を中心とした品質マネジメントシステムを構築し、改善活動を行う事によりクレームを低減しています。

## 教育

パナックでは、全社教育体系に基づき階層別の教育を実施するとともに、各部門で必要な教育は部門毎に計画を立てて実行しています。

品質保証体制の向上については、新入社員、中途社員、異動者などを対象に基礎教育を2012年、2013年ともに実施しました。また、営業アシスタントに対して業務ミスなどに着目した研修を行うなど、人的ミスの削減にも力点をおいて教育を実施しております。

# コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

## 義援金寄付、文化活動の協賛

---

パナックでは、皆様に信頼される企業、一企業市民として、持続可能で健康的な関係を共有することを目的に、社会貢献活動に取り組んでいます。

### ■災害被災者救援活動への義援金寄付活動

2013年フィリピン台風救援金(2013.11.18)

伊豆大島等台風26号災害東京都義援金(2013.11.18)

東日本大震災義援金(2011.4.1)

中国四川大地震義援金(2008.6.3)

ミャンマーサイクロン災害義援金(2008.6.3)

新潟県中越沖地震義援金(2007.7.20)

インドネシアジャワ島中部地震義援金(2006.6.14)

パキスタン北部地震義援金(2005.10.28)

スマトラ島沖地震義援金(2005.2.3)

新潟県中越地震義援金(2004.11.22)

インド西部地震義援金(2001.3.12)

## IPPO IPPO NIPPON プロジェクトへの協賛

---

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、経済同友会が、東日本大震災の被災からの復興支援に向けた具体的行動として結実させるために立ち上げたプロジェクトです。パナックは、プロジェクトに協賛し、支援活動を行っています。プロジェクトの第一期活動として、人づくりと産業活性化という視点から、地場の産業を担う若者の育成を中心に、各県が運営する震災遺児・孤児の生活支援基金への寄付、岩手大学や東北大学が取り組む産学連携の復興事業への資金援助を実施しました。

## サイトウ・キネン・フェスティバル松本への協賛

---

サイトウ・キネン・オーケストラは、1984年、世界各地に散る同門の志が、恩師齋藤秀雄先生没後10年に集い、メモリアルコンサートを開いたことから生まれた、世界に類をみないオーケストラです。

パナックでは、1992年より、同フェスティバルに協賛しています。

## 工場周辺清掃活動

---

生産本部では地域活動の一環として、工場周辺の清掃活動を展開しています。

富士宮工場・亀山工場共に、各年度とも春・秋の2回の清掃活動を実施しており周辺美化に努めています。

# 会社概要

## corporate profile

会社名	パナック株式会社 PANAC CO.,LTD
本社	〒108-0014 東京都港区芝5-31-19 オーエックス田町ビル
設立	1979年1月12日(創業1933年)
資本金	3億1,000万円
取締役社長	多田 和則
従業員	405名(平成26年4月現在)
営業拠点	大阪営業所(大阪府)、名古屋営業所(愛知県)、尾道営業所(広島県)、 三重営業所(三重県)、熊本営業所(熊本県)
生産拠点	富士宮工場(静岡県)、亀山工場(三重県)
関連会社	シエス株式会社(東京都)、パナックアドバンス株式会社(東京都)、 台湾パナック(台湾)、香港パナック(中国)、上海パナック(中国)、 蘇州パナック(中国)、パナック코리아(韓国)、深圳パナック(中国)

### 事業内容

- 富士フィルム株式会社特約代理店として「フジタック」、「WV フィルム」、  
その他各種産業材料の特約販売
- 株式会社サンリッツ代理店として高級プラスチック偏光フィルムの加工及び販売
- 東レ株式会社の「ルミラー」、東レ・デュポン株式会社の「カプトン」をはじめとして、  
メーカー各社の各種高機能プラスチックフィルムを、工業材料、電子材料分野に加工及び販売
- ライフサイエンス、エネルギー関係事業
- 加工技術 コーティング加工 / ラミネート加工 / プロテクト加工 / マット加工 / スリット加工 /  
カット加工 / 抜加工 / 染色加工 / 印刷加工 / 蒸着加工 他

[www.panac.co.jp/](http://www.panac.co.jp/)

**PANAC** パナック株式会社